

# 令和6年度 第1回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 2024年4月30日（木） 14時25分から16時20分
2. 開催場所 天竜中学校2階被服室
3. 出席委員 米山英二、齋藤 誠、鈴木滋芳、鈴木景子、中村まゆみ  
（敬称略） 匂坂典男、伊藤武司、高橋靖博、伊藤太一（CSコーディネーター）
4. 欠席委員 なし
5. 学 校 野秋愛美（校長）、山城百孝（教頭）、鈴木美音子（主幹教諭）  
長谷川翔（生徒指導主事）、増田直由（2年学年主任）  
佐野正已（校務アシスタント/CSディレクター）
6. オブザーバー 西澤幸次郎（天竜協働センター長）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CSディレクター 佐野正已
9. 会長挨拶 鈴木（滋）会長 <詳細略>
10. 学校長挨拶 野秋校長 <詳細略>
11. 新規委員任命書交付  
高橋靖博委員（西尾委員の後任、任期3年目の1年）
12. 自己紹介 詳細略
13. 浜松市学校運営協議会規則確認  
山城教頭より概要説明があった。委員からの質問はなし。
14. 副会長の指名  
会長の指名により今年度就任したPTA会長の伊藤武司さんをお願いすることとした。
15. 議長の選出  
司会（山城教頭）より議長希望者を委員各位に募るも立候補はなかったが、米山委員から鈴木滋芳さん推薦の提案があり全委員了承をお願いすることとした。
16. 令和5年度第4回協議会会議録及び自己評価の確認
  - ・昨年度第4回の議事録の報告（山城教頭） <詳細略>
  - ・令和4年度学校運営協議会の自己評価表の説明（山城教頭） <詳細略>
17. 協議事項 

（1）学校運営の基本方針について	野秋校長
（2）いじめ防止対策	生徒指導主事
（3）職場体験	2年学年主任
（4）生徒会の取組（校則見直し）	生徒会長
（5）学校部活動の地域移行について	山城教頭
（6）子供の貧困、放課後の居場所づくり （学校と地域で協力できること）	山城教頭
（7）夢育やらまいか事業	山城教頭
（8）令和6年度学校運営協議会自己評価表	本年度の目標確認
18. 会議記録  
委員総数9人の出席があり、過半数に達していることから会議は成立とした。

## 熟議

- （1）学校運営の基本方針について（野秋校長） <詳細略>

・先生の仕事は益々大変になっている中、天中の保護者はどんな感じか？（米山委員）  
→当校の保護者は大変優秀で協力的、これは長い歴史を持つこの地域の特性だと思う。

（野秋校長）

・資料で大きな課題は不登校対策かと思うが、地域として何かできることはないか？

（斎藤委員）

→地域でかかわってもらえるだけでもありがたい。子供食堂や学習会も大変ありがたい。

（野秋校長）

・できたら学習会については学校側からも（協力してもらえそうな生徒に）声かけをお願いしたい。（鈴木景委員）

・不登校の実情は？（高橋委員）

→1年生は0人、2年生は昨年度来では14人。校外学びの教室に通っている生徒もいる。

（うち1人は完全に不登校）、3年生は通常学級で、修学旅行に行けなかったのは2人だが、2人ともグリーンルームに通ってきている。30日以上休むと不登校とカウントされるが、どこにもつながっていない生徒はいない。（野秋校長）

・不登校生徒に対する教育の面での対応としてオンライン授業もできるのでは？（匂坂委員）

→昨年度は3名にタブレットを自宅に持ち帰らせて実施した。うち1人は1年間登校しなかったが、タブレットで学校内の情報発信もできたことで、今年4月から登校している。

（野秋校長）

## （2）いじめ防止対策

○天竜中学校のいじめ防止基本方針は昨年度と大きく変わったところはない。今年も年4回のアンケート調査（6月、10月、12月、2月）を計画している（長谷川生徒指導主事）

・いじめ問題が発生した時、学校の中で組織的に対処していただいているので心強い。今後も継続して前倒しで対応していただけるようお願いしたい。（鈴木滋委員）

＊ ＊ 授業との関係で議題の（4）と（3）を入れ替えて審議しています。 ＊ ＊

## （4）生徒会の取組（校則見直し）について 小枝生徒会長 <詳細略>

・立派な活動で正に「（学校教育目標の）主体的に生きる」活動だと思う。（鈴木滋委員）

・（われわれの学生時代は）校則はあるがままでいいとしていたが、こうした検討を生徒が主体的に考えて修正していくことは今後を生きる上で大変良いことだと思う。

（伊藤太委員）

・報告書がタブレットを使った Google のスプレッドシートを使いこなしているのに感心した。（伊藤武委員）

## （3）職場体験

○今年度も11月19日/20日（9時～15時）で2年生の職場体験を計画している。2年生215人を2、3名に分散させて、受け入れてくれる事業所で体験をさせたい。昨年同様の内容で進めようと考えているが、これまでは第3次産業が多かったので、今年度はできうれば「食」を守る農業や漁業の分野についても受け入れ先を確保したい。

（増田2年学年主任）

・事業所募集の手順は昨年同様でお願いしたい。重複を避けるために、昨年受け入れてくれた事業所については学校側から直接交渉していただくこととして、私の方では新規の受け入れ先についてだけ募集をかけたい。そのため学校側で把握している受入れ実績のある事業所について事前確認のためリストの提供をお願いしたい。それ以外の事業所について6

月初旬の自治会連合会の会合を通じて各自治会に新規事業所の発掘と受入れの調整を依頼する。(伊藤太委員)

→新規事業所としてウナギ養殖場や農業法人についても期待したい。募集の締め切りについては学年に戻って相談するが7月末を目途に進めたい。(増田2年学年主任)

(5) 学校部活動の地域移行について

○本年1月16日付で実施した「部活動指導に参加可能な人材の調査」で33名の応募があった。予想以上の方々の回答に驚いている。今後この方々を集めて学校側の要望を伝える説明会を計画している。必要としている指導者や対価を含めたお金の話、歩美会との連携、部活動の運営等について説明したいと考えている。(山城教頭)

・自治会におろされても困る内容ではあるが、国の方針なので協力はしていきたい。(鈴木滋委員)

→様々なことが考えられる難しい問題なので1歩ずつ進める。手始めに33名を招集しての説明会をと考えている。(山城教頭)

(6) 子供の貧困、放課後の居場所づくり(学校と地域で協力できること)

○この件は昨年の自己評価で提案された新しいテーマで、今後学校運営協議会で熟議を進めたい。(山城教頭)

・中ノ町地区の実情を言うと月2回、元気食堂を開いている。困っている子供たちは無償、その他の子供たちは有償。チケットで運用していて食材はセブンイレブンやコストコの余り食材を譲り受けて運営している。実際に困っているご家庭は5軒ほど、地区社協の支援を受けて活動している。また学業を支援するための学習会も開いていて先生役は大人に加えて地域の高校生や大学生にお願いしている。こうした学生も社会人になると離れていくので人材の確保が大変だ。(鈴木景委員)

・和田地区は子供食堂「そら」や、子供の居場所スペースとして和田小の近くの駄菓子屋がありそこを活用している。わかっている範囲ながら和田地区全体で8軒が困っている。(中村委員)

・困っている時はどこに相談するのか?主に地区社協か?いよいよ困ったら学校運営協議会でも提案してほしい。(鈴木滋委員)

(7) 夢育やらまいか事業

○昨年同様予算をいただいているので、主に①と②の活動に使いたいと考えている。(山城教頭)

① キャリア教育実現のための地域指導者による体験学習や職業講話と防災講座など

② <継続>学校敷地東側の桜並木の保全活動(伐採や植樹)

・桜の樹齢は一般的に60年と言われている。古い木が多いので植え替えを加速していく必要がある。(野秋校長)

19. その他

(1) 地域のボランティア活動参加について

・昨年同様伊藤太一さんから「各種イベント参加・出席要望」の要望書を各自治会長宛に配布して募集をかけていただく。(山城教頭)

(2) 今後の予定

第2回学校運営協議会 令和6年7月9日(火) 13:30~15:30(終了予定)

\*冒頭30分程度は授業参観を計画